平成24年3月12日
第 3 号

電子かわら版
～京都府景観資産～

発行：京都府建設交通部都市計画課

　この冬は、記録的な降雪があるなど、厳しい寒さでしたね。そうした中でも、登録地区では趣向をこらした冬のイベントにも取り組まれています。

　今回は、そんな冬のイベントを中心にご案内します。

目 次

1　美山かやぶき集落群

2　久美浜湾の牡蠣養殖

3　うぶやの里・大原

4　大野ダム周辺の水辺景観が京都府景観資産登録候補地区として予備登録されました

1　美山かやぶき集落群
（京都府景観資産第4号・南丹市美山町）

　南丹市の北部、由良川上流に位置する美山町北地区には、日本の原風景とも言うべきかやぶき民家が38軒現存しています。かやぶき民家は入母屋（いりもや）造りと呼ばれる千木（ちぎ）、破風（はふ）などの構造美に優れ、いわゆる「北山形」という独自の構成をもつ山村の民家としての特質を有しています。歴史的文化遺産として、内外から高く評価され、平成5年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

　1月28日～2月4日には「第8回美山かやぶきの里雪灯廊」が開催され、雪で作った灯籠の灯りがかやぶき屋根を映し出し、幻想的な世界が広がりました。

　また、毎年2回実施される放水銃の一斉点検では、かやぶきの里一帯に設置された放水銃から放たれた水のアーチを写真に収めようと、たくさんのカメラマンが訪れます。

※　今年は5月20日（日）、12月8日（土）に予定されています（いずれも午後1時30分から5分程度）。

美山かやぶきの里雪灯廊

放水銃一斉点検の光景

2　久美浜湾の牡蠣養殖
（京都府景観資産第2号・京丹後市久美浜町）

久美浜湾は、京都府北西端に位置し、東から日本海に突き出ている砂嘴（さし）・小天橋で外海と隔てられた汽水湖・内海です。湾の南には久美浜町の市街地が広がり、明治のはじめ久美浜縣の県庁所在地として栄えた町です。久美浜湾は閉鎖性水域の内海のため、波の荒い日本海に面していても比較的穏やかで、牡蠣の養殖に適しており、日本海側で牡蠣養殖を行っている数少ない場所です。河内湾の牡蠣棚規模が最も大きく、砂嘴の西端を視点場として南側を見渡したときの、牡蠣棚と背後の山地が織りなす風景は、地域の代表的景観と言えます。

久美浜湾の牡蠣養殖

今回は、この久美浜湾の冬の風物詩をご案内します。

1　久美浜カキ・魚まつり

久美浜湾の豊かな恵みで育まれたカキ。そして地元で水揚げされた新鮮な魚のお祭です。メインは何と言っても焼きカキの試食と、カニなどの新鮮な海の幸をふんだんに使った大漁鍋のサービス。その他、カニ雑炊の早食い大会やビンゴゲーム等も開催されます。直販コーナーでは、カキやカニをはじめとした水産物がお得な価格でお買い求めいただけます。

※　今年の開催予定

平成24年12月2日（日）

久美浜カキ・魚まつりの様子

2　久美ナリエ

年末・年始の期間中は、夕刻から兜山の西側に大文字の電飾が灯されます。大文字は“関西花の寺”如意寺から眺めるのがおすすめです。

※　今年の開催予定

平成24年12月23日（祝）

～　平成25年1月3日（木）

久美ナリエ　（兜山の西側に大文字の電飾）

3　うぶやの里・大原

（京都府景観資産第 14 号・福知山市三和町）

中国湖南省の瀟湘八景（しょうしょうはっけい）や琵琶湖の近江八景に代表されるように、「○○八景」とはその地域を代表する風景を選定されるものであり、古くから絵画や詩歌などの題材にされるなど、人々に潤いと安らぎを与えてくれるものとなっています。

「うぶやの里・大原（おおばら）」の大原うぶやの里活性化推進協議会では、京都府景観資産登録地区の魅力をさらにPRするため、地元の皆さんの応募により「大原八景」を選定されるとともに、これらを示した案内看板を作成され、昨年１１月２７日に除幕式が行われました。

案内看板には周辺の案内図に「大原八景」の場所が示されており、代表的な写真が彩りを添えています。

また、協議会では、案内看板の設置のほか、秋葉山の展望台の整備や、古くからの繋がりがある質志鍾乳洞（京丹波町質志（しずし））との連携など、景観資産登録を契機に、地域振興につながる活発な取組を次々に展開されています。

大原神社では、毎年５月３日に例大祭が行われます。皆さんも、安産の神様でもある大原神社、「うぶやの里・大原」に足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

□協議会ホームページ（大原八景）

http://www.ubuyanosato.jp/introduce.html#intro_chapter1

除幕式での1コマ

「大原八景」の案内看板

4 大野ダム周辺の水辺景観が 京都府景観資産登録候補地区として予備登録されました

昨年12月26日に開催された第14回京都府景観審議会において、美山町大野振興会から提案のありました大野ダム周辺の水辺景観を京都府景観資産に登録することについて審議されました。

審議の結果、景観的価値の評価や名称を再整理し、登録範囲の設定根拠を明確にした上で、次回審議会で再度審議されることとなりました。

京都府景観審議会での審議により、登録には至らなかったものの、相当のレベルに達していると評価されたものについては予備登録リストに掲載されますが、大野ダム周辺の水辺景観についても、予備登録リストに掲載され、次回審議会での本登録を目指すこととなります。

大野ダム周辺では、毎年、春にはさくら祭り、秋にはもみじ祭りが開催され、多くの人々が訪れます。今年のさくら祭りは、４月７日（土）～４月１５日（日）に開催されます。

□大野振興会ホームページ

（ダムパーク・大野）

http://www.ohnodam.com/

大野ダム周辺の桜

さくら祭りの様子

編集後記

おかげさまで、電子かわら版 ～京都府景観資産～も第3号の発行を迎えることができました。

これからも景観資産登録地区の情報を発信していきますので、よろしくお願いします。

よりよい紙面づくりのため、皆さんからのご意見・ご感想、耳寄りな情報をお待ちしております。

（M）

発行：京都府建設交通部都市計画課
〒602-8570　京都市上京区下立売通
新町西入薮ノ内町
京都府景観資産ホームページ
http://www.pref.kyoto.jp/toshi/keikan.html
E-mail　toshi@pref.kyoto.lg.jp
TEL　075－414－5328

バックナンバーはこちらから
http://www.pref.kyoto.jp/toshi/1319764643050.html